

平成30年 第12回 当別町教育委員会定例会議事録

日 時 平成30年10月17日(水) 午後2時00分  
 場 所 役場3階 中会議室  
 出席者 本庄教育長、武岡教育長職務代理、寺田委員、小林委員、佐々木委員  
 出席職員 山崎教育部長、北村学校教育課長、小出社会教育課長、須藤子ども未来課長、  
 山谷学校教育課参事、小川社会教育課主幹、三浦社会教育課主幹、  
 石川子ども未来課主幹、玉木総務係長、高島学校教育係長、  
 米内学校教育係主査、木村給食センター係長、栄木子育てサポート係長  
 傍聴者 なし

【開会の宣言】 教育長	これより平成30年第12回当別町教育委員会定例会を開催致します。
【議事日程】 教育長	日程につきましては、各委員に配付しています日程表により議事に入ります。
【日程第1】 教育長	日程第1、報告第1号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。
教育部長	(提案の説明) 只今、議題となりました報告第1号教育委員会委員の任命につきまして、提案の説明を申し上げます。議案につきましては1頁を高覧ください。 本件は、教育委員の武岡和廣氏が平成30年9月30日付けで任期満了となるため、同氏を再任することについて、平成30年第3回当別町議会定例会におきまして、平成31年9月25日付けで、議会から同意を得ましたので、これを委員会に報告し、ご承認をいただこうとするものです。 よろしくご審議をいただきますようお願い致します。
教育長	ただ今、提案説明がありました。何か、ご質問等はございますか。 なければ、質疑を打ち切り、報告第1号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。 (「異議なし」の声) 異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第1号は原案のとおり承認致しました。



<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明)</p> <p>只今、議題となりました報告第3号臨時代理の報告につきまして、提案の説明を申し上げます。議案につきましては3頁を高覧ください。</p> <p>本件は、先月の台風21号による学校敷地等の倒木被害に伴い、平成30年9月21日付けで、平成30年度9月追加補正予算として、臨時に代理し、町理事者に提出したもので、これを委員会に報告し、承認をいただこうとするものです。</p> <p>よろしくご審議をいただきますようお願い致します。</p> <p>なお、詳細につきましては、学校教育課長から説明いたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>それでは、私から詳細の説明を申し上げます。議案の3～6頁をご高覧ください。</p> <p>歳出の10款災害復旧費 2項文教施設災害復旧費 1目現年発生災害復旧費において、1,000千円を増額しております。理由としては、先月の4日から5日にかけての台風21号による学校敷地及び教員住宅敷地における倒木処理業務委託にかかるものです。</p> <p>被害の内容と処理にかかる費用の内訳についてですが、当別小学校においては、倒木が4本、処理費用は276千円、西当別小学校においては倒木が5本、処理費用が173千円、当別中学校及び下川町の教員住宅においては、倒木が7本、処理費用が475千円、西当別中学校においては、倒木が4本、処理費用が76千円となり、合計で倒木が20本、処理費用が1,000千円となっております。</p> <p>また、当別町ふとみ保育所において、2本の倒木がありましたが、職員により撤去したところでした。</p> <p>以上です。よろしくご審議をいただきますようお願い致します。</p>
<p>教育長</p> <p>寺田委員</p> <p>学校教育課長</p> <p>教育長</p>	<p>ただ今、提案説明がありましたが、何か、ご質問等はございますか。</p> <p>迅速な対応ありがとうございます。当別地区と西当別地区で処理費用が大分違うようですが、その理由を教えてくださいませんか。</p> <p>当別地区については、高所作業車を使っただけの作業が必要であったため金額が高くなっており、反対に西当別地区については、高所作業車を使う必要がなかったため、金額に差が出ております。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>なければ、質疑を打ち切り、報告第3号は原案のとおり承認してご異議</p>

	<p>ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第3号は原案のとおり承認致しました。</p>
<p>【日程第4】</p> <p>教育長</p>	<p>日程第4、報告第4号を上程致します。</p> <p>提案の説明を求めます。</p> <p>教育部長。</p>
教育部長	<p>(提案の説明)</p> <p>只今、議題となりました報告第4号臨時代理の報告につきまして、提案の説明を申し上げます。議案の7～8頁、別冊の1頁を高覧ください。</p> <p>本件は、平成30年9月30日付け当別町教育支援委員会委員の解職について、臨時に代理いたしましたので、これを委員会に報告し、承認をいただこうとするものです。</p> <p>当該委員は西当別中学校の佐久間教諭であり、佐久間教諭は、出産に伴う休暇及び育児休業取得の予定となっております。</p> <p>よろしくご審議をいただきますようお願い致します。</p>
教育長	<p>ただ今、提案説明がありましたが、何か、ご質問等はございますか。</p> <p>なければ、質疑を打ち切り、報告第4号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第4号は原案のとおり承認致しました。</p>
<p>【日程第5】</p> <p>教育長</p>	<p>日程第5、報告第5号を上程致します。</p> <p>提案の説明を求めます。</p> <p>教育部長。</p>
教育部長	<p>(提案の説明)</p> <p>只今、議題となりました報告第5号平成30年度9月補正予算につきまして、提案の説明を申し上げます。議案の9頁を高覧ください。</p> <p>本件は、平成30年第10回教育委員会定例会におきまして、協議案第1号として提案、委員各位のご了解をいただいた補正予算です。</p>

	<p>主な内容につきましては、教育委員会が所管する施設の除雪業務委託と、当別町一体型義務教育学校基本設計業務委託に係るもので、歳出の補正を行ったところです。本補正予算につきましては、平成30年第3回当別町議会定例会において、平成30年10月2日付けで原案のとおり可決されましたので、委員会にこれを報告し、ご承認をいただこうとするものです。</p> <p>よろしくご審議をいただきますようお願い致します。</p>
教育長	<p>ただ今、提案説明がありました。何か、ご質問等はございますか。</p> <p>なければ、質疑を打ち切り、報告第5号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第5号は原案のとおり承認致しました。</p>
【日程第6】 教育長	<p>日程第6、報告第6号を上程致します。</p> <p>提案の説明を求めます。</p> <p>教育部長。</p>
教育部長	<p>(提案の説明)</p> <p>只今、議題となりました報告第6号平成30年度9月追加補正予算につきまして、提案の説明を申し上げます。議案の10頁を高覧ください。</p> <p>本件は、先ほどご承認いただきました報告第3号平成30年度9月追加補正予算についてです。内容としては、台風21号による倒木処理業務委託に係るもので、歳出の補正を行ったものです。本補正予算につきましては、平成30年第3回当別町議会定例会において、平成31年10月5日付けで原案のとおり可決されましたので、委員会にこれを報告し、ご承認をいただこうとするものです。</p> <p>よろしくご審議をいただきますようお願い致します。</p>
教育長	<p>ただ今、提案説明がありました。何か、ご質問等はございますか。</p> <p>なければ、質疑を打ち切り、報告第6号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第6号は原案のとおり承認致しました。</p>

<p>【日程第 7】 教育長</p>	<p>日程第 7、報告第 7 号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明) 只今、議題となりました報告第 7 号平成 3 0 年度全国学力・学習状況調査報告書作成につきまして、提案の説明を申し上げます。議案の 1 1 頁を高覧ください。 本件は、平成 3 0 年度全国学力・学習状況調査について当別町の調査分析結果を報告書にまとめましたので、これを委員会に報告し、ご承認をいただこうとするものです。 よろしくご審議をいただきますようお願い致します。 なお、詳細につきましては学校教育課参事から説明いたします。</p>
<p>学校教育課参事</p>	<p>私より説明を申し上げます。議案の 1 1 頁及び平成 3 0 年度全国学力・学習状況調査報告書をご高覧ください。 1 頁は、本調査の目的、対象学年、内容等を掲載しております。当日は小中学校合わせて 2 4 5 人中 2 3 2 人が参加しました。 続いて 2 頁は、小学校の分析結果です。初めに学力調査の教科ごとの平均正答率と平均正答数についてです。今年度は 3 年に 1 度実施する理科を含めて、国語、算数、理科が実施されたため、この 3 教科の結果を掲載しております。 次に、下段の全国平均を基準 ( 1 0 0 ) とした場合の領域ごとの正答率については、領域別の比較一覧表とレーダーチャート化したものを掲載しております。 次に 3 頁、全国の下位約 2 5 % と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合については、各領域の比較一覧表とグラフ化したものを掲載しております。 次に中段、教科ごとの結果概要については、前回の平成 3 0 年第 1 1 回教育委員会定例会 ( 平成 3 0 年 9 月 1 4 日開催 ) において、ご説明を申し上げた北海道版結果報告書に掲載する当別町の結果報告と重複する部分もありますがご了承ください。はじめに国語では、全国との差が拡大しました。領域別では国語 A 「書くこと」「読むこと」が全国より高い状況ですが、国語 B は全国より低い傾向です。下位層の割合は、全国より少ない状況にあります。次に算数ですが、国語同様に全国との差が拡大しました。領域別では算数 A 「図形」「数量関係」が全国平均より高い状況ですが、「量と測定」が低い傾向です。算数 B では全体で全体</p>

的に全国平均より低い傾向です。下位層の割合では、算数Aが全国よりも多く、算数Bが全国よりも少ない状況です。次に理科ですが、前回実施の平成27年度の数値との比較になりますが、全国との差が縮まってきている状況です。領域別では「地球」を除いて全国平均より高い状況です。下位層の割合は全国平均より多い状況ですが、前回調査の割合と比べると大幅に改善されております。

次に改善策についてです。国語では、「一斉読書」や「グループ音読」等、「音読」を積極的に取り入れ、子どもたちの表現力や読解力の育成に繋がったり、ノートを活用する場面を多く取り入れる等の授業改善を進めます。算数では、少人数習熟度別の指導方法を多く取り入れた授業や、主体的で対話的な深い学びいわゆるアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善を積極的に進めます。理科では、小中一貫教育推進講師による授業サポート体制を維持し、質の高い授業を継続する等、子どもたちの学習環境をさらに向上させていきます。授業全般では、教師の授業力向上のための校内研修の実施や、メンター研修の実施による若手教師の授業力、生徒指導力の向上、アクティブ・ラーニング（主体的で対話的な深い学び）の視点を取り入れた授業改善を積極的に進めることが重要と捉えております。アクティブ・ラーニングの視点については、中学校とも連動しておりますが、具体的に申し上げますと「見通す活動」と「振り返る活動」の2つに大きく分けられます。まず「見通す活動」とは、単元や授業の冒頭で、児童生徒が「この単元や授業で何ができるようになれば良いか、また、そのためにどのように学べばよいか」をしっかりと理解することであり、結果として主体的な学びの部分につながると考えられます。次に「振り返る活動」とは、単元や授業の終盤で「何ができるようになったのか、また、どのように学んできたのか。さらに学んできたことを、どこで、どのように活用するか」を理解することであり、この視点をしっかりと授業の中で位置づけていくことで、対話的な学びに繋がると考えられます。後ほど学校改善プランの中にも出てきますが、このアクティブ・ラーニングの視点をもって、中学校との連携の中で一貫して取り組んで参りたいと考えております。

次に4～8頁の学習状況調査についてです。調査項目の結果を全国と比較し、優位な項目と改善が必要な項目に分けて、特徴的な項目を掲載しております。算数の学習に関して、「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか」との問いに「当てはまる」と回答した児童は、32.5%と、全国と比較して11.9ポイント低い状況です。また、「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないかを考えますか」との問いに「当てはまる」と回答したの児童は、33.3%と、全国と比較して10.9ポイント低い状況です。こ

これは、算数の授業において思考力に関わる事項が低いという傾向にありますので、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善が重要と捉えております。

次に5頁の理科の学習に関して「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」との問いに、「当てはまる」と回答した児童は21.1%と、全国と比較して10.0ポイント低い状況です。また、「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」との問いに、「当てはまる」と回答した児童は27.2%と、全国と比較して10.0ポイント低い状況です。これも算数と同様に、思考力に関わる事項が低い傾向でありますので、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善が重要と捉えております

次に6頁の家庭学習についてです。「家で、学校の授業の予習・復習をしている」「家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している」と回答した児童の割合が、全国より高い傾向です。これは日ごろからの家庭学習の取組が定着し、取組が進んでいることが窺えます。一方で「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」との問いで「2時間以上」と答えた児童の割合が、全国より低い傾向です。自主的な学習態度を身に着けさせる指導と、家庭の協力が必要であると捉えております。

次に7頁の基本的な生活習慣についてです。「毎日同じくらいの時刻に寝起きしていますか」の問いに、「している」と回答した児童が全国より低い傾向です。学校と保護者が連携し、基本的な生活習慣を作ることが必要であると捉えています。次に、指導に関わる項目についてですが、「先生は、あなたの良いところを認めてくれると思いますか」の問いに、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国より低い傾向です。教師が子どもたちを認め褒めることで、より成長が加速されるので、子どもたちの良いところを積極的に認め、学力の向上につなげることが必要であると捉えております。

次に、8頁のその他についてです。「今住んでいる地域の行事へ参加していますか」の問いに、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国より高い傾向です。一方で「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」との問いに、「当てはまる」と回答した児童の割合は、全国より低い傾向です。今後は、コミュニティ・スクールの活動を中心とした地域との関わりを一層深める取組が必要であると捉えています。

次に9頁、平成20年度から平成30年度までの本調査の結果をグラフ化したものですので、ご高覧ください。

続いて、中学校の分析結果となります。10頁をご高覧ください。まず、学力調査について、上段には、教科ごとの平均正答率と平均正答数、下段には、全国平均を基準（100）とした場合の領域ごとの正答率、11頁上段には、全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合については、小学校と同じ様式のものに掲載しております。

次に中段、教科ごとの結果概要についてですが、国語では全国との差が縮まってきております。領域別では、国語A・Bともに全国平均より若干低い傾向です。下位層の割合は全国よりも多い状況ですが、各校で授業改善が図られたことにより、昨年度より減少傾向となっております。次に数学ですが、数学Aは全国と同値となっており、数学Bは全国より低くなっております。領域別では、数学Aはほぼ全国平均より高い状況です。数学Bでは、「図形」が全国より高い数値ですが、「関数」と「資料の活用」が全国より低い状況です。下位層の割合は数学A・Bともに全国よりも多い状況であり、昨年度よりも増加傾向にあることが課題となりました。次に理科ですが、全国を上回る唯一の教科となりました。領域別では、「生物的領域」が全国より高い状況であり、下位層の割合も全国より少ない状況です。前回調査と比較すると大幅に減少しております。

次に改善策についてです。全体を通して、小中一貫教育の推進により学習規律の定着、落ち着いた雰囲気での学習が可能となっていることから、今後はより精度を上げて学力向上の取組を進めていきたいと考えております。また、全国学力・学習状況調査の結果を共有し、学校改善プランに反映できるように進めて参りたいと考えております。

続いて12頁の学習状況調査についてです。小学校と同様に特徴的な項目を掲載しております。まず、数学の学習に関して「数学の勉強は、大切だと思いますか」「数学ができるようになりたいと思いますか」「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いに、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国より低い傾向であり、小学校同様にアクティブ・ラーニングの視点が重要と捉えております。次に13頁、理科の学習についてです。「理科の勉強は好きですか」「理科の授業では、理科室で観察や実験を週1回以上行った」の問いで、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国より高い傾向となっております。授業において、観察や実験を多く取り入れていることで、楽しくわかりやすい授業になっているものと捉えています。一方、「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」との問いに、「当てはまる」と回答した生徒の

割合が全国より低い傾向です。これもアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善が必要であると捉えております。

次に14頁、家庭学習についてです。「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国より高い傾向です。これは小学校からの家庭学習の取組が定着し、小中一貫教育の成果が着実に表れていることが窺えます。一方で、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の問いに「2時間以上」の回答の割合が全国より低い傾向です。自主的な学習態度を身に着けさせる指導と、家庭の協力が必要であると捉えております。

次に15頁の基本的な生活習慣についてです。「毎日、同じくらいの時刻に寝起きしていますか」との問いに「している」と回答した生徒の割合が全国より低い傾向です。時間を自己管理できるようにする必要があり、学校と保護者が連携して、基本的な生活習慣を作ることが必要であると捉えています。

次に16頁、指導に関わる項目についてです。「先生は、あなたの良いところ認めてくれると思いますか」の問いに「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国より低い傾向です。教師が生徒を認め褒めることで、より成長が加速されるので、生徒一人ひとりの良さを積極的に認め、学力向上に繋げることが重要と捉えています。

次に17頁、その他についてです。「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の問いに「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国より高い傾向です。一方で、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」との問いに「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国より低い傾向です。こちらも小学校同様、コミュニティ・スクールの活動を中心とした地域との関わりを一層深める取組が必要であると捉えています。

次に18頁ですが、小学校同様に平成20年度から平成30年度までの本調査の結果をグラフ化したものですので、ご高覧ください。

最後に19頁、当別町学力向上プランについてです。中段に具体的な方策を掲載しておりますが、学校においては、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善のほか8項目のやるべきこと、教育委員会においては、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善に向けた指導・助言のほか11項目の努めることを掲載しており、学校と教育委員会が協力・連携し、子どもたちの学ぶ力の向上に向けて邁進していくこととしております。

本報告書につきましては、本日の委員会でご承認をいただいた後、ホームページで公表いたします。また、学校からも同様に公表する予定と

	<p>なっております。</p> <p>以上です。よろしくご審議をいただきますようお願い致します。</p>
教育長	<p>ただ今、提案説明がありましたが、何か、ご質問等はございますか。</p>
小林委員	<p>4～5頁の小学校の分析では、カッコ書きで、「当てはまると回答した割合の合計」と説明があるが、6頁からはその記載がなくなっていることと、分析の中の問いによって、「当てはまる」のみの割合、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の2つの割合を計上して統一されていないのですが、理由は何かあるのでしょうか。</p>
学校教育課参事	<p>まず、記載がなくなっている部分については訂正いたします。「当てはまる」のみの部分、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の2つの部分については、より傾向が見やすくなるような工夫のために行ったところですが、意図的に操作したように捉えられる恐れもあることから、全ての項目を「当てはまる」と回答した割合に統一をいたします。</p>
武岡代理	<p>「先生は、あなたの良いところを認めてくれると思いますか」の問いで、小学校が12.7%、中学校で8.5%も全国平均と比べて低いとありますが、これは全国平均と比べてどうするのではなく、子どもを認めることは教員として一番基本的なことであると思うので、もっと高めていかなければならないと思います。子ども一人ひとりには、絶対良いところがあるはずなので、普段の子どもへの関わりをもっと意識して、授業改善等に努めていただきたいと思います。</p> <p>12～13頁の中学校の数学と理科の学習について、理科では、多くの項目で全国平均を上回っている反面、数学では、多くの項目で全国平均を下回っているようです。また、4～5頁の小学校の理科と算数についても、多くが全国平均を下回っています。これは、中学校の理科教員が実験等をたくさん行って、楽しい授業をしてくれていることの結果だろうと思いますが、反対に、中学校の数学や小学校の算数・理科については、その教科が好きではないという状況が窺え、一方的な授業をやっているような印象を受けてしまいます。そのような状況を良くするには、現場の教員がどのような意識で授業をやっているかを教育委員会が把握してあげて対策を講じることが大切であると思います。具体的には専科教員の配置を要望する等の様々な方法があるかと思いますが、そのように努めていただければと思います。</p>
学校教育課参事	<p>ご指摘ありがとうございます。私も理科教員であったので、この結果は</p>

<p>寺田委員</p> <p>学校教育課参事</p> <p>教育長</p>	<p>非常にショックでした。西当別地区に配置されている小中一貫教育推進講師の市原先生は算数・数学を担当ですが、もともと理科教員であることから、実験があまり行われていない状況を危惧していただき、理科の授業に積極的に関わってもらっています。今では市原先生が中心に教材開発等をして担任とともに授業改善に努めていただいている状況です。その成果もあり、西当別地区の子どもたちは、NRTの学力調査でも理科でかなり成績が上がってきています。このような良かった取組について、今後当別地区の子どもたちへも波及するように教育委員会事務局を通して提案をして参りたいと思います。</p> <p>9頁のグラフなのですが、モノクロだと少し見づらいので、公表される際にはカラーのほうが良いかと思えます。</p> <p>申し訳ございません。議案としてはモノクロでお渡ししておりますが、公表する際は全てカラーにいたします。</p> <p>なければ、質疑を打ち切り、報告第7号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第7号は原案のとおり承認致しました。</p>
<p>【日程第8】</p> <p>教育長</p>	<p>日程第8、議案第1号を上程致します。</p> <p>提案の説明を求めます。</p> <p>教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明)</p> <p>只今、議題となりました議案第1号当別町教育支援委員会委員の委嘱につきまして、提案の説明を申し上げます。議案の12頁、別冊の1頁を高覧ください。</p> <p>本件は、当別町教育支援委員会の新たな委員として、村田五月氏を委嘱するため、委員会の議決を得ようとするものです。</p> <p>よろしくご審議をいただきますようお願い致します。</p>
<p>教育長</p>	<p>ただ今、提案説明がありました。何か、ご質問等はございますか。</p> <p>なければ、質疑を打ち切り、議案第1号は原案のとおり決定してご異議</p>

	<p>ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、議案第1号は原案のとおり決定致しました。</p>
<p>【閉会の宣言】</p> <p>教育長</p>	<p>以上で、平成30年第12回当別町教育委員会定例会を閉会致します。</p>
<p>教育長</p>	<p>引き続き、事務局から報告・連絡等をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校教育課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成30年9月議会定例会一般質問について</li> </ul> </li> <li>◆社会教育課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>○上半期各種社会教育事業の実績について</li> <li>○こころのふれあい通学合宿in当別(第2部)について</li> </ul> </li> <li>◆子ども未来課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童虐待防止推進月間について</li> </ul> </li> </ul>
<p>教育長</p>	<p>次回の定例会の日程は、平成30年11月21日(水)午後2時から役場庁舎3階の公会議室で行いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>以上で全てを終了させていただきます。お疲れ様でした。</p>

閉会 午後3時30分